

市川を愛したゆかりの作家10人の品々

10.16(土) - 12.19(日)

市川ゆかりの作家10人を取り上げ、自筆原稿や書簡、愛用品、市川を詠んだ作品などの収蔵品を展示します。長年市川に暮らし作品に市川を登場させた永井荷風や井上ひさし、江戸



川を眺める書齋が創作拠点だった詩人・宗左近、女性脚本家の先駆けとして活躍した水木洋子のほか、ある時期市川に住み、この地を歌に詠んだ歌人・北原白秋や吉井勇など多彩な作家たちを紹介します。資料を通してゆかりの作家と作品に、より親しみを感じていただければ幸いです。



イベントのお知らせ

荷風忌

第十三回 市川

2021 12/5 sun.

市川で14年間にわたり暮らし続けた荷風。歌人の吉井勇もまた、市川に傾倒しました。荷風と勇が暮らした時期は重なり合っていたものの、勇は市川で暮らす荷風に思いを寄せ、歌を詠んでいます。講演と語りから広がる荷風の世界をゆつたりと、お楽しみください。

〈おとがたり〉

「にぎり飯」「春雨の夜」

ヴァイオリンの音色とともに――

俳優座女優 長浜奈津子氏
ヴァイオリニスト 喜多直毅氏

●日時 2021年12月5日(日) 13時30分～16時15分
●開演 13時30分(開場13時)
●無料 定員100名
●会場 市川市生涯学習センター2階グリーンスタジオ
●申込み 事前申込制

応募方法の詳細は広報いちかわ、公式Webサイト、ツイッター等で随時お知らせいたします。

1907年生まれ。早稲田大学卒業、同大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。専門は日本近代文学。富知工業高等専門学校准教授を経て現職。編著に『吉井勇全集』(中公文庫)『湯川秀樹断片』(講談社文芸文庫)など。

静岡県立大学 教授 細川光洋氏

〈講演〉

永井荷風と吉井勇

―断腸亭日乗と吉井勇日記―

●吉井勇(1896・1960) 歌人、劇作家。伯爵家に生まれる。情痴の世界をうたう耽美的な作風から「祇園歌人」ともよばれた。歌集に『酒ほかひ』『祇園歌集』『天彦』、作詞に「ロンドラの唄」など。

市川市文学ミュージアム Ichikawa City Museum of Literature

◎新型コロナウイルスの感染防止のため内容に変更が生じる場合があります。詳細は公式Webサイト、ツイッター等で随時お知らせいたします。

【JR総武線】本八幡駅・下総中山駅より徒歩15分【都営新宿線】本八幡駅より徒歩20分
【京成線】鬼越駅より徒歩10分【車】京葉道路 京葉市川インター下車5分
※駐車場はありますが、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
※本八幡駅からコルトンバス(無料)もご利用いただけます。

〒272-0015 市川市鬼高1丁目1番4号
市川市生涯学習センター(中央図書館)2階 市川市文学ミュージアム(月曜日休館)
TEL 047-320-3334 FAX 047-320-3356
公式Webサイト <https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html>

文学ミュージアム Twitter

